

| | | | |
|-------|---------|--------|-------|
| 講義名称 | マクロ経済学Ⅱ | 担当教員名 | 松田 慎一 |
| 科目群 | ビジネス | | |
| 科目区分等 | 理論経済 | 単 位 | 2 |
| 対象学年次 | 2年・春学期 | ナンバリング | |

| | | | |
|---------------------|---|---|--|
| 授業のキーワード | 財市場と金融市場、財政政策と金融政策 | | |
| 授業の概要 | マクロ経済学は、一国の経済全体の活動を説明する学問です。財市場と金融市場、および財政政策と金融政策の仕組みを説明する予定です。マクロ経済学Ⅰを履修済みであり、その知識を前提に講義を進めます。 | | |
| 期待される学習成果（目標） | 1. マクロ経済学の考え方を理解できる。 2. 財市場や金融市場について説明できる。 | | |
| 授業展開 | | | |
| 回 | テーマ | 内 容 | |
| 1 | イントロダクション | 授業概要の説明と、マクロ経済学とはどのような学問であるのかについて解説します。 | |
| 2 | マクロ経済学の復習 | マクロ経済学基礎（マクロ経済学Ⅰ）で扱った内容の復習をします。 | |
| 3 | 有効需要と乗数定理（1） | さまざまな乗数について解説をします。 | |
| 4 | 有効需要と乗数定理（2） | さまざまな乗数について解説を行い、演習をします。 | |
| 5 | 投資の理論（1） | 投資とは何か、何が投資を決める要因であるのかについて説明をします。 | |
| 6 | 投資の理論（2） | 第5講の続きです。 | |
| 7 | 財市場の決定理論（1） | マクロ経済分析を行うための基本的な概念であるIS曲線について説明します。 | |
| 8 | 財市場の決定理論（2） | 第7講の続きです。 | |
| 9 | 貨幣の需要（1） | 貨幣が需要される動機について説明します。 | |
| 10 | 貨幣の市場（2） | 第9講の続きです。 | |
| 11 | 貨幣市場の決定理論 | 貨幣が需要される動機について説明します。 | |
| 12 | IS-LM分析（1） | マクロ経済学の均衡が、どのように決まるのかについて説明します。 | |
| 13 | IS-LM分析（2） | 第12講の続きです。 | |
| 14 | 財政政策と金融政策 | 政府の行う財政政策と金融政策が、マクロ経済に及ぼす効果について説明します。 | |
| 15 | まとめ | この授業で解説した内容の総括を行います。 | |
| 定期試験 | 授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。 | | |
| 評価方法 | 授業貢献度と課題を40%、期末試験を60%として総合点数により評価します。 | | |
| 使用する教科書（必ず購入してください） | 必要に応じて資料を配布します。 | | |
| 参考文献 | スティグリッツ・ウォルシュ『マクロ経済学』第4版 東洋経済新報社 中谷巖『入門マクロ経済学』第5版 日本評論社 平口良司 稲葉大 『マクロ経済学』有斐閣 | | |